

炊き立ての味をそのままに 「ささ結」ごはんパックを販売します

今年でデビュー4周年を迎える、ササニシキ直系新ブランド米「ささ結」の「ごはんパック」の販売を開始しました。

「ささ結」は、関係機関で組織する、「大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム」が中心にPR活動を行っています。

現在では、その活動が実を結び、消費者や米卸業者から高い評価を受けています。

また、県内のスーパーに限らず、首都圏の一部のスーパーでも高価格帯のブランド米として販売されています。

市場で「ささ結」の人気の高まりを見せる中、より多くの人にそのおいしさを味わってもらおうと、市では「ささ結」の「ごはんパック」をおいしく作ることに成功しました。

近年、一人暮らしなどを中心に短時間で調理をして食事をする人も多く、「ごはんパック」の消費も伸びてきています。おいしい「ささ結」を手軽に



▲レンジで2分温めるだけで、炊き立てのようなおいしい「ささ結」を味わえます

味わうことができる「ごはんパック」を、手に取ってみてはいかがでしょうか。

「ささ結」は「ごはんパック」は、JR古川駅1階おみやげ処「蔵醸室」内の大崎市観光物産センター「DOZO（どぞ）」、古川志田地区飯川の穀彩市場「志ちゃん」長原サービスエリア上り線で、1パック160円（税別）で販売しています。

これからも、市では世界農業遺産に認定されたお米の聖地、大崎耕土の「ささ結」をシンボル米として、より多くの人に広めていきます。

「産官学金」一体で地域活性化を目指します

6月12日、図書館（愛称：来楽里ホール）で「大崎市と東北財務局との地域活性化に関する連携協定締結式」が行われました。

この協定は、東北財務局の持つネットワークや専門的なノウハウを生かし、地域の活性化と住民生活の向上に向け、幅広い分野での協働の取り組みを目指すものです。

協働のパートナーとして迎えた東北財務局は、仙南地域の地方公共団体と連携し、多数の成功事例があります。

協定の締結式終了後は、金融機関や地元商工団体を加え



▲連携協定書に署名した松浦東北財務局長（右）と伊藤市長（左）



▲約40名が参加したワーキンググループでは、活発な意見交換が行われていました

て、ワーキンググループを開催しました。産業振興の推進に向け、市内企業の販路の拡大やインターンシップ事業の推進、空き店舗解消に向けた取り組みなど、現状の課題や今後の方針について話し合いました。

今後は「産官学」のこれまでの連携に、新たに金融の「金」を加え、「産官学金」一体となつて、地域の活性化を目指していくことが確認されました。



▶図書館来館者の30万人達成を記念し、セレモニーが催されました

2018 6月の主な出来事	
23日	●まちづくり協議会委員委嘱状交付式
22日	●飲酒運転根絶横断幕寄贈式
16日	●大崎市総合防災訓練 ●おおさき食祭まつり2018（7日まで）
14日	●平成30年第2回大崎市議会定例会開会（29日まで）
12日	●大崎市と東北財務局との地域活性化に関する連携協定調印式
9日	●大世界農業遺産認定記念2018プレミアム商品券発売記念セレモニー
6日	●大崎市長 全国市長会副会長就任
3日	●2018大崎市鹿島台デリシャストマトまつり

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



鳴子温泉発

贅沢がギュッと詰まった味わい

6月16日・17日、鳴子峡レストハウス前で食楽まつりが開催された。多くの来場客でにぎわいました。会場には市内外から自慢の食材を提供する露店がところ狭しと連なり、新緑の鳴子峡を食べ歩きながら散策する人も見られました。

また、16日には、世界農業遺産認定を記念して販売する「大崎耕土世界農業遺産記念おにぎり弁当」が初公開されました。弁当には、『ささ結』をはじめ、大崎市・加美町・色麻町・涌谷町・美里町からよりすぐりの食材を使った献立が盛り込まれ、大崎耕土の食の魅力を一度に味わうことができます。



▲大きな口でささ結の塩おむすびをほおばっていました

弁当は、9月30日までJR東日本 仙台駅構内の7店舗で、8月には陸羽東線リゾートみのりと東北新幹線やまびこの一部で販売されます。豊饒の大地が育んだ味わいたっぷりの食で、贅沢な時間を過ごしてみてください。

岩出山発

休日のお昼に音楽の楽しみを



▲古川中学校の生徒は、お茶出しを手伝ったり演奏したりと、大活躍でした



▲スコールハウスのロビーに、心地よい音楽が流れていました

鹿島台発

極上のデリシャストマトを堪能

6月3日、鹿島台瑞・華・翠交流施設（鎌田記念ホール）で2018大崎市鹿島台デリシャストマトまつりが開催されました。

開会前から、トマト販売コーナーには大勢の来場者で長蛇の列ができ、当日用意された4.5トンものトマトは、ほぼ完売となりました。

今年初めての、糖度の違う3種類のトマトを試食し

て、一番糖度が高いものを当てる糖度当て大会が行われました。参加者はトマトを口いっぱい



▲どのトマトが一番甘いか当てられるかな



▲トマトのもぎ取りを楽しむ親子

おぼり、味の違いを比べていました。

会場は、市内外から3,500人もの来場者で大いににぎわいました。

6月16日、岩出山文化会館（スコーレハウス）で、スコールカフェコンサートが開催されました。古川中学校弦楽部が映画「猫の恩返し」の主題歌「風になる」ほか6曲を披露し、繊細な響きで観客を魅了していました。

また、当日は来場者にお茶やコーヒーが振る舞われ、古川学園高等学校・パティシエ系列の生徒が作ったマドレーヌが配られました。高校生が作ったお菓子のおいしさに、食べた人は驚いていたようでした。